

山口市議会報告

Yamaguchi City Council Report

vol.32



発行責任者 山口市議会議員 竹中一郎



令和8年 第1回山口市議会定例会 **質問と答弁**

中山間地域における 農業の担い手確保について

▶質問

これまでの担い手確保の取組に加えて、農業以外の業種からの企業参入等を図ることは、農業の魅力向上や新たな担い手確保にも繋がると考えるが、市の所見を伺う。

▶答弁

農業分野以外の企業が農地を借りて営農に取り組む事例が見受けられる等、新たな担い手確保策の一つと捉えている。こうした取組が地域に定着し、農業の活性化につながるよう必要な環境整備に努める。

▶質問

「阿東ふるさと交流センター」跡地の利活用、つまり、県内酒造メーカーから、当該施設の跡地を酒米研究所等として活用する計画があり、実現すると、酒造メーカー関係者のみならず、学術研究者、学生、そして農業従事者の皆様の交流が促進され、地域の賑わい創出が期待できる。それも農業の担い手確保に繋がると考えるが、市の所見を伺う。

▶答弁

企業の方々と、現在、中山間地域で農業を守っておられる方々との新たな交流が始まり、賑わいが生まれ、地域住民と近隣都市住民との都市農村交流による中山間地域の活性化につながると考えてい



阿東ふるさと交流センター跡地

る。地域づくりや関係人口づくりにおいても、好影響・好循環の良い流れを生み出すことで、ずっと元気な地域づくりを進める。

山口情報芸術センター YCAMについて

▶質問

YCAMがどのように取組むことで、本市のまちづくりにおける役割を果たしていくのか伺う。

▶答弁

いつでも誰でも新しい表現や情報に触れることができる場の提供に重点的に取組み「新たな価値と交流を生む文化芸術創造拠点」として発展させる。メディア・テクノロジーが持つ可能性とYCAMが有する創造性を様々な分野において発揮し、地域の多様な主体とともに創動的な活動を通じて、本市を進めるまちづくり「文化の薫る創造都市づくり」に貢献する。

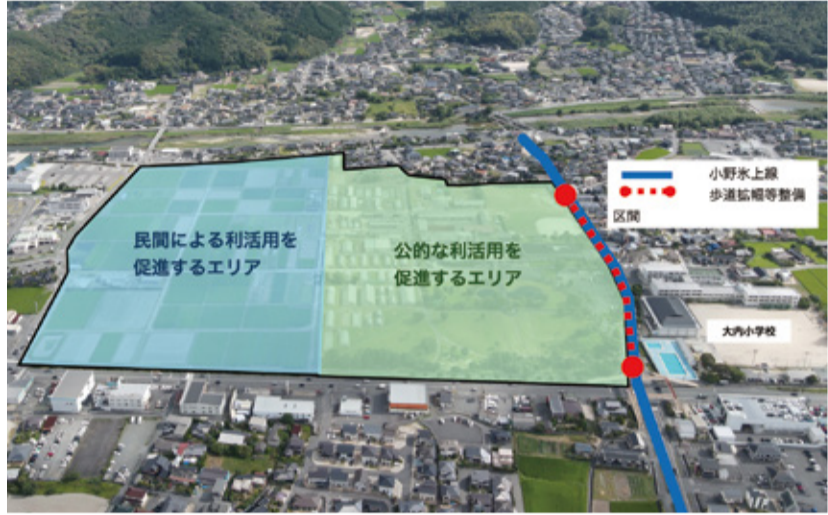


撮影:塩見浩介 写真提供:山口情報芸術センター[YCAM] PROJECT MRT—Natureless Solution/太陽と土と糞から切り離れたテクノロジーの再考

Achiro's Eye
気づいたこと感じたこと

農業については、生産条件が不利と言われる中山間地域において、少子高齢化と著しい人口減少による担い手不足が叫ばれている中で、農業を守るための担い手の確保が最重要課題であり、今後、5年、10年先を見据えると、まさに正念場を迎えています。関係者の皆様の訴えに耳を傾け、現場を知れば知るほど、その現実を強く感じています。実際、阿東地域や徳地地域の現場では、現在、従事されている方々の高齢化による数年先の労働力不足、後継者不足と併せて将来への不安を嘆かれています。

市道小野氷上線の整備について



農業試験場跡地

▶質問

農業試験場跡地の利活用検討において、「市道小野氷上線」の整備として2,500万円計上されている。内容としては歩道拡幅等に向けた測量設計とあるが、歩道しか拡幅しないのか伺う。

▶答弁

「県道山口防府線」から農業試験場跡地に並行する区間約350mについて、歩道拡幅に伴う測量設計を行う。当該区間は通学路として児童の安全を確保するために必須だと認識している。なお、令和8年度に県と市で、公的利活用促進エリアにおける跡地の施設配置、区画道路レイアウトを検討するので、これに合わせ車道等の歩道以外の検討も進めていく。

県道山口防府線の渋滞対策について

▶質問

「県道山口防府線」の渋滞対策について、「市道宮島町問田線」の改良について伺う。「県道山口防府線」では日常的に渋滞が発生している。渋滞対策として期待される「市道宮島町問田線」について、令和8年度の当初予算、道路整備計画道路改良事業の1億1109万円のうち、どのくらいの予算を見込んでいるのか。またその内容について伺う。できるだけ早期の整備を期待しているところだが、今後の整備スケジュールについて伺う。

▶答弁

小京都に抜ける「市道問田5号線」から中村橋の交差点までは480mある。令和8年度は50mの工事、200mの測量設計で合計2,500万円の予算を計上している。



市道宮島町問田線

河川の浚渫について

▶質問

県管理の仁保川について、県立育成学校の少し上流の、大きく曲がる部分の内側(右岸側)は大量の土砂が堆積している。県に対して浚渫の要望はできないのか伺う。

▶答弁

土砂の堆積状況については確認しており、大内での移動市長室においても、浚渫の要望があったので、管理者の県に対し、見解を伺ったところ、現地の状況は把握していて、「特に、河川の曲がりの内側は土砂が堆積し易いことと、この箇所は、川幅が広がっているため、現在、大量の土砂が堆積しているが、通水部の流れは保たれており、経過観察をしている」とのことであった。市としては、仁保川に限らず、市内の県管理河川については、継続的に浚渫の要望をしている。



河川における土砂の堆積

新山口駅周辺における駐車場不足の対策について

▶質問

基礎調査の結果や山口商工会議所からの要望を踏まえ、今後、どのように駐車場不足への対策に取り組んでいくのか、民間事業者に対する財政支援の考え方も伺う。

▶答弁

駐車場は収益性の高い施設であることや、駅周辺にふさわしい土地の高度利用の観点から、民間事業者による立体駐車場の整備が適切であると認識している。整備には多額の費用を要すことから、整備費の一部を支援する等について検討をする。実効性の高い施策となるよう事業者や関係者の皆様と意見交換を行いながら進める。



新山口駅北口

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。

